



2016・11・21

第 256 号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## 南スーダン PKO 派兵に高まる国民の抗議

### 駆け付け警護の新任務を命令

稲田朋美防衛大臣は 11 月 18 日、南スーダン PKO に派兵する陸上自衛隊の次期部隊に対し、戦争法にもとづく「駆け付け警護」などの新任務付与を命令しました。閣議後の記者会見で稲田大臣は、「(駆け付け警護の) 意義についての説明を浸透させることができていない。しっかりと努力していきたい」と高まる国民の抗議の声に挑戦する姿勢をむき出しにしています。

### 各地で南スーダン派兵反対

【福島県・福島県九条の会等】 南スーダン PKO に派兵する自衛隊部隊に「駆け付け警護」などの新任務を付与しようとしていることに反対し、福島県九条の会や平和団体は 11 月 9 日、福島市で緊急宣伝行動を繰り広げました。

行動参加者は J R 福島駅前通りのつじつじに立ち、吹き付ける寒風のなか宣伝署名行動。「新任務は憲法が禁じる海外での武力行使に踏み切ることになり、自衛隊が”殺し、殺される”初めてのケースになる。南スーダンは紛争状態で、自衛隊の PKO 参加の原則は崩れている。戦争法 (安保法制)

### 九条の会第 6 回全国交流集会の 成果をこれからの運動に =< 報告集 >=

◇主な内容 呼びかけ人あいさつ (澤地久枝) / 問題提起 (小森陽一) / 世話人あいさつ・メッセージ (池内了、池田香代子、伊藤千尋、伊藤真、清水雅彦、山内敏弘、浅倉むつ子、高良鉄美) / 分散会の報告 (第 1 ~ 第 7 分散会) / 資料 アンケートから見た九条の会の課題、他

◇B5 判 76 頁 1 冊 800 円 (〒82)

但し、5 部以上 1 冊無料

10 部以上 1 割引

### =< DVD >=

◇主な内容 呼びかけ人あいさつ / 事務局報告 / 世話人あいさつ・紹介

◇取り扱い 1 本 1500 円 (〒160)

発動でなく撤退すべきだ」「憲法を踏みにじる戦争法の廃止を」と訴えました。

2 人連れの年配の女性は「今の安倍内閣のやり方は恐ろしい。腹が立ってしょうがない」と南スーダンからの撤退を求める署名に応じました。「いても立ってもいられな

い」という男性は「この政治をなんとかできなにか」と書なぐるように署名しました。

### 青森の若者を戦場に送るな

【青森市東部地域・憲法九条を守るけやき・はまなすの会、九条を守る茶屋町の会、堤川西憲法九条守る会】 青森市東部地域の3つの九条の会は11月10日、合同宣伝を行い、「戦争法廃止、南スーダン派遣反対」「憲法九条守ろう」と訴えました。

茶屋町をはじめ地域の住民のよりどころとなっているデイサービス前で宣伝。「寒いね」と白い息を吐きながら集まった参加者14人は、歩道沿いに一列に並び、背筋を正してのぼりと横断幕を掲げました。

マイクを握った茶屋町の会の門倉昇さんは「青森の若者を戦地に送るな」と、青森の陸自部隊が内戦激化する南スーダンへ派遣されることに抗議。南スーダンへの出発日が市長選告示日と同じ20日であると述べ、「戦争法廃止へ声をあげ、平和を守る市長を選ぼう」と呼びかけました。

参加者は、通行人やドライバーに手を振り、頭を下げ、「平和憲法を守ろう」「憲法守れの声を一緒にあげよう」とアピールしました。

### 憲法語る力つける連続学習会

【宮城県・県内九条の会連絡会】 宮城県内九条の会連絡会は仙台市で、自民党改憲案を学び、憲法を語る力をつけようと市民参加型の学習討論会をスタートさせました。初回の9日は20人が参加。若手弁護士九条の会の松村幸亮弁護士が基本的人権について、自民党改憲案と現行憲法の各条文を対

比させて討論を行いました。

改憲案21条を読み上げた松村氏が「国が公益と公の秩序を害すると認定すれば結社の自由も制限できる。こういう学習会もできなくなります」と話すと、参加者から「デモも制限されるのか?」「公の秩序とは?」など質問が出されました。

この学習会は憲法の3原則を3回に分けて、若手の弁護士を交え学び深めあいます。2回目からの参加も可能で、12月7日に「国民主権」について増田友氏が、来年1月11日に「平和主義」について中尾健一氏が講師の予定です。

同絡会幹事の須藤道子さんは「憲法は生活など身近なことにつながっています。それを伝えるためにもぜひ学習会に来てほしい」と呼びかけました。

### 憲法70周年でフェスティバル

#### 【青森県八戸市・はちのへ九条の会】

「はちのへ九条の会」が主催する「日本国憲法公布70周年記念フェスティバル」が11月3日、八戸市の福祉公民館で行われ、市民など130人が参加しました。

戦争放棄を誓った憲法が安倍政治の下で変えられようとしている今、憲法について一緒に考えてみましょうとの呼びかけで開かれたものです。

フェスティバルでは、高校生も登壇し、井上ひさしさんの「この国のかたち(前文)」の群読、DVD「ワイマール憲法に学ぶ緊急事態条項の危うさ」の上映、「おくにことばで九条を」と町畑・桜ヶ丘九条の会の高梨恵美子さんが南部のことば(南部藩地域のことば)で九条を語りました。

「二度と戦争はしない」をテーマにしたシンポジウムで「長者九条の会」の堀徳郎さん（元高校校長）と「コープあおもり命を大切に考える会」の高橋薫さんが報告。弁護士の小野恭さんは「安倍政権は、戦争を放棄した現憲法下で安保関連法を強行し、武力の行使（戦争）を行おうとしている」と批判しました。

### 「9条まつり」－多彩な催しで交流

**【和歌山県橋本市・憲法9条を守る伊都・橋本連絡会】** 憲法9条を守る伊都・橋本連絡会は11月5日、橋本市で「伊都・橋本9条まつり」を開きました。

同連絡会の下村克彦代表が開会あいさつ。「憲法は70年間、戦争のない平和な世界をつくるために日本はがんばると世界に示してきた。世界で初めて原爆被害を受けた日本だからこそ、9条を大切にしなければならぬ」と訴えました。

まつりでは、児童らの「やっちゃん踊り」や、支援学校生らの和太鼓演奏、マジックショー、高校生らのレッツダンス、9条コーラス、日本民謡、吹奏楽、銭太鼓など多彩な催しがとりくまれました。また会場では、「ヒロシマ・ナガサキ 原爆と人間」展や模擬店、バザーなどが開かれました。

### 子らの将来のためにも声あげる

**【秋田県・あきた女性九条の会】** あきた女性九条の会は5日、秋田市内で8周年のつどいを開き36人が参加。秋田県憲法センター代表の虻川高範弁護士が自民党改憲草案の狙い・問題点、憲法が変わるとどうなるのかなどについて講演しました。

虻川氏は、「憲法を変えるということは、私たちの生活だけでなく次の世代にもわたって大きな影響を及ぼすことになる」と語り、「『憲法は私たちが世代を超えて作り上げてゆく、未完のプロジェクト』と話した憲法学者で九条の会呼びかけ人の故・奥平康弘さんの伝言を引き継ぎ、戦争法廃止・立憲主義回復の市民と野党共同のたたかいを続けていきましょう」と呼びかけました。

フリートークで参加者からは「戦争を経験した両親は私に『好きなことをやりなさい』と言ってくれた。今の流れを見て、子どもたちのことを考えると非常に不安になる。声を上げ続けたいといけぬ」などの声が寄せられました。

### 「一点共闘の市民革命」を衆院選にも

**【宮城県加美町・加味九条の会】** 加美九条の会は10月19日、宮城県加美町の中新田公民館ホールで、憲法九条講演会を開き40人の市民が参加しました。

元鹿島台町長の鹿野文永氏が講演し、放射性廃棄物最終処分場問題での加美町のたたかいに触れ、広範な運動に発展させた住民エネルギー、一点共闘の市民革命の勝利だと評価。「戦争法によって、9条を守り生かす運動が新たに発展し、参院選、新潟知事選の勝利へとつながった。さらに総選挙につながれば、自民党政治に大きな打撃を与えることができる」と訴え、会場は大きな拍手に包まれました。

主催した加美九条の会では、「アベ政治を許さない」「TPP（環太平洋連携協定）阻止」の運動を広げ、戦争法廃止、集団的自衛権容認閣議決定撤回まで全国と連帯して

宣伝などの運動を展開していきたいと話合っています。

### 変化する世界のなかで9条を生かす

**【三重県亀山市・亀山9条の会】** 亀山市で12日、亀山9条の会がフリージャーナリストの伊藤千尋氏を招いて講演会と総会を開き、約70人が参加しました。

講演会で、伊藤氏はスペインやトルコに日本国憲法9条の碑が建てられていることを紹介し、「世界でも憲法9条が平和の象徴であることが認識されていることを安倍首相はどう思っているのか」と批判。さらにコスタリカが国をあげて平和憲法を実践していることを指摘し、アメリカ大統領選のトランプ、サンダース旋風の背景にもふれ、「変化する世界」を紹介しました。

参加者からは「伊藤さんがエネルギーで元気づけられた」「コスタリカの憲法の生かし方を周りの人たちにも伝えたい」などの感想が寄せられました。

総会では、川辺一弘事務局長が平和憲法の意義を学び広げる活動を行う、市内のさまざまな個人や団体と共に憲法9条を生かす取り組みと共同を広げるなどの運動方針が出され、満場一致で採択されました。

### 聴衆参加型で立憲主義の意義学ぶ

**【新潟県魚沼市・魚沼9条の会】** 新潟県魚沼市の魚沼9条の会は6日、市内で7周年総会と記念講演会を開き、「どうする日本の憲法」と題して、上越中央法律事務所の田中淳哉弁護士が講演しました。雪降り前の冬支度で忙しい貴重な休日でしたが、市民67人が参加しました。

田中弁護士の講演は、各地で開いている憲法カフェのスタイルを生かした聴衆参加形式で進められ、民主主義の下でも起こり得る、多数の力を背景にした権力の横暴から国民を守るのが立憲主義であることを、分かりやすく解明しました。

講演に先だって地域のうたごえサークルの出演もあり、参加者みんなで楽しく歌うなごやかな会になりました。

### 登山を軍事利用させないために

**【岡山県・岡山登山者9条の会】** 4月に結成された「岡山登山者9条の会」（守屋益男代表）はこのほど、岡山県倉敷市で講演会を開きました。春名直章元衆院議員が「平和と登山『戦争法を廃止し、9条を守る』」と題して講演しました。

事務局長の能瀬雅国さんは「戦前は登山が軍部に利用され、山の地図も国家機密だった。そんな時代に逆戻りさせたくない」と述べ、会への参加を呼びかけました。

### 沖縄に心を寄せて絵本展

**【愛知県・こどもの本9条の会あいち】** こどもの本9条の会あいちが名古屋市東区の愛知民主会館ほっとブックスペースで20日まで「平和のための絵本展」を開きました。昨年に続いて2回目です。

今回のテーマは「沖縄に心をよせて」。沖縄の民話を題材にした絵本『わらしべ王子』や『ふなひき太良（たらあ）』、石川文洋氏や森住卓氏の平和を追求する沖縄の人たちを撮った写真を展示しました。

19日（土）は「沖縄と平和を語る絵本カフェ」が開かれました。